

電気の地産地消を推進

地元発電所とのつながりをひろげるコープこうべ

2017年4月より供給をスタートしたコープこうべの「地元でんき」。現在約3万世帯が利用しており、地元の発電所の電力を利用した「地産地消」の魅力の一つです。今回はコープでんきに電気を供給する宝塚すみれ発電の井上保子さん、コープでんき利用者の平湯史さん、コープでんき電力事業担当の益尾大祐さんの3人にお話をうかがいました。

地元の想いとチカラでつなぐ市民発電所

「きっかけは2011年の東日本大震災。原発事故を受け、再生可能エネルギーでつなぐという想いが原動力でした」と語る井上さんが代表をつとめる宝塚すみれ発電は、宝塚市内を中心に6か所で太陽光発電を行っています。コープでんきに電気を供給する第3号発電所は、出

資者の8割が兵庫県在住。そのうち6割が宝塚市民だとか。井上さん曰く「地元の方々の想いとチカラでつなぐ市民発電所です」。

「電気は人と人とを結ぶ素敵なツール。コープさんを通じてすみれの電気をより身近に感じてもらえたら」と期待している井上さん。



太陽光発電パネル前で語る非営利型株式会社宝塚すみれ発電の井上保子さん



コープでんきの電源の一つ「すみれ発電第3号(宝塚市山手台)」
※写真は、兵庫県の県民まちなみ緑化事業を活用し、ボランティアの皆さんと一緒に植樹したときの様子



関西一円と中国地方から集められる森林未利用材、一般木材およびリサイクル材を主なバイオマス燃料として有効活用。地域の森林と林業の再生・活性化に貢献しています。

燃料の木材チップ

神戸市垂水処理場では、下水汚泥から発生する消化ガスを利用したバイオマス発電を行っています。都市ならではの「資源」を有効活用した取り組みです。



下水処理場全景



まずはコープの職員自身がコープでんきの産地を知ろうと、総勢30名が発電所を訪問。(2018年9月25日 宝塚市西谷地区の営農型太陽光発電所)

笑顔をつなぐたい



コープこうべ電力事業タスクフォース統括 益尾大祐さん

「子どもたちのために選びました」
「福島の原発事故のニュースに触れるたびに、原子力に頼る現状を、子ども世代に引き継いでいけないと思っていました」。そんな時、出会ったのがコープでんき。環境を考えた電力を使えることが、切り替えの大きな決め手でした。さらに、申し込み手続きが、簡単なことも後押し。一申込書は一枚記入するだけ！さらに、コープの宅配で利用している口座から、電気代も引き落としてくれるのもいいですね」と語るのは、奥様の恵理さん。

切り替え後は、思いのほか電気代が安くなった。びっくりに、「子どもたちが成長するにつれて、電気の使用量が増えるでしょうから、家計を助けてくれそう」。今ではお財布にやさしいのも、メリットのつだと実感しているそうです。

近ごろ平湯家では、コープでんきが地元でつくった電気を使っていることで、さらに親しみを持つようになったのだとか。「子どもたちも、コメントの向こう側や、環境について興味をもってくれたら」と、お子さんの成長に思いをはせておられました。



平湯さんご家族

COOP コープこうべの

コープでんき

つなごうあしたのエネルギー

CO₂の排出が少ない天然ガスと、太陽光やバイオマスなどの再生可能エネルギーからつくられた電気です。

コープこうべキャラクター「コービー」

おかげさまで契約件数

28,000世帯突破!

2018年7月時点

料金がお得*に!
※関西電力株の従量電灯Aをご利用の方

手続きカンタン!
切替費用や解約手数料、契約期間のしぼりがなく安心です。

今、お申し込みの組合員さまに!

宅電をご利用の組合員さま
めーむ 500ポイントプレゼント!

※ポイント付は初回料金口座引落とし月の月末となります。
※宅電をご利用の組合員さまは「商品券」をお選びいただけません。

WEBでお申し込みの場合
eポイント150ポイントプレゼント!

宅電をご利用でない組合員さま
コープこうべの商品券 500円分プレゼント!

※「商品券」(現金)は初回料金口座引落とし月の月末となります。

検針票を持って
コープのお店へ!

でんきの見直し相談会 期間限定

10/12~14日

10:00~18:00 お近くのコープ店にて

検針票をお持ちいただき、簡単なアンケートにお答えいただいた方に もれなく

しっとり保湿ティッシュ

1箱(360枚・180組)プレゼント!!